



MINOGAOKA  
**みのが丘**

校 是  
誇り・希望・理想  
華があり 挨拶があり  
美しい言葉で語れる生徒

平成 25 年度  
第 11 号  
11 月 6 日発行  
文責：羽賀正晃

## 全国学力・学習状況調査の分析結果及び今後の取組について

本年 4 月に実施された 3 学年を対象とした全国学力・学習状況調査の結果について、各分野において優れている点や努力を要する点、本校生徒の傾向などを分析し教職員全員で共通理解を図りました。また、本校としての今後の取組についても協議しましたのでお知らせします。



### 全国学力・学習状況調査結果（再掲）

- 国語 A（基礎）：正答率 79.7%  
・「県平均+2.1、全国平均+3.3」
- 国語 B（活用）：正答率 73.6%  
・「県平均+5.0、全国平均+6.2」
- 数学 A（基礎）：正答率 67.3%  
・「県平均+5.1、全国平均+3.6」
- 数学 B（活用）：正答率 45.6%  
・「県平均+5.9、全国平均+4.1」

	優れている点（主なもの）	努力を要する点（主なもの）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書く力がついている。</li> <li>○段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える読み取りの力がついている。</li> <li>○描写に注意して読み、文章の内容を理解する読解力が身についている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●なじみのない漢字や慣用句の正答率が低く、授業や宿題などで課題として提示する。</li> <li>●修飾語などの理解が不十分であり、授業の中で文の成り立ちを継続して復習する。</li> <li>●比喩を用いた表現では、理解を定着させるために授業で書く指導を継続する。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識・理解など、数学に必要なとされる基本的な事項については、かなり定着している。</li> <li>○図形分野での正答率が、基礎・活用とも大きく上回っている。</li> <li>○あきらめずに最後まで解こうとしたと回答している生徒が多い（無解答率が少ない）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●整数や自然数などの定義の理解が不十分であり、その都度、振り返りを行う。</li> <li>●資料の活用や確率の理解が不十分である。体験的な活動を有効に活用していく。</li> <li>●多面的な見方をする問題を苦手としている。考えを広げるグループ活動等を取り入れる。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣が身につけており、早寝・早起きの傾向にある。</li> <li>○学校生活を楽しくしており、級友との関係も良好である。前向きな取組が見られる。</li> <li>○国語の授業が好きな生徒が多く、必要性を理解し課題意識をもって取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平日 2 時間以上、休日 3 時間以上家庭学習している生徒が少ない。</li> <li>●グループでの調べ学習を増やし、ねらいや課題を明示した授業の展開が必要である。</li> <li>●数学の授業についての関心・意欲は全国平均であるが、苦手意識をもつ生徒がやや多い。</li> </ul>

### 具体の取組…放課後の学習会

授業改善の具体的な取組として放課後の学習会を始めました。毎週月曜日（もしくは火曜日）、昼清掃をすることにより学習時間を確保しました。週 1 回のわずか 20 分ですが、継続した取り組みが「分かる」学習につながります。各学年の実態に合わせて、全職員が協力して実施しています。



## 今後の取組…授業改善に向けて

子どもにとって、学校生活の大部分は授業であり、その授業が分からなければ、楽しくなければ学校生活の充実は期待できません。また、子どもたちも切に望んでいることがある。それは、勉強に集中できる学校です。職員一人ひとりが下記のことの共通理解し、指導力の向上に向けて取り組んでまいります。

### 【 授業全般 】

- 教科部会及び学年間の意思疎通を今まで以上に密にして授業にあたる。
- 指導過程を大切にし、「分かった」と実感を伴う授業づくりに努める。

### 【 関心・意欲 】

- 導入や教材、教具の工夫を図る。
- 何を学ぶかを明確にする。そのための学習課題を提示する。

### 【 生徒への支援 】

- 個別指導や机間指導を工夫して授業を展開する。
- 数学の授業においては習熟度別学習を継続し、指導法も工夫する。
- 学校として補充学習の時間を確保する。

### 【 家庭学習 】

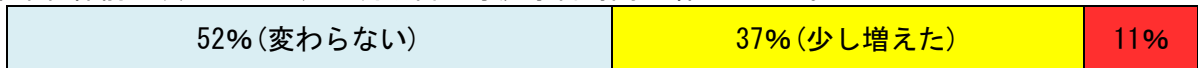
- 学年集会等で、学習の大切さを伝える講話を行う。
- 自主学習の継続を図る。家庭での過ごし方を考えさせる。

## 家庭学習の充実…余暇の使い方

10月11日(金)、生徒を対象にした市中総体前と市新人大会以降の家庭学習の時間と余暇の使い方についてアンケートをとりました。市中総体前の部活終了時刻は18時30分であり、市新人大会以降は17時30分です。11月からは17時になりました。家庭で過ごす時間が1時間以上多くなっています。この貴重な時間をいかにして過ごすのか。家庭学習で苦手な分野の復習に取り組むチャンスです。各ご家庭で話題として取り上げてください。

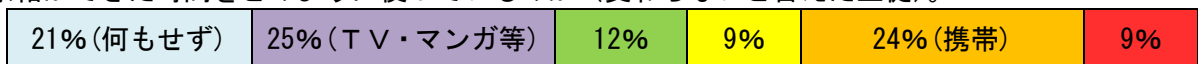
【有効回答315人】

○市中総体前の頃と比べて、10月以降の家庭学習時間は増えている。



(かなり増えた)

○余裕ができた時間をどのように使っているのか (変わらないと答えた生徒)。



(ゲーム) (本)

(その他)

○学習時間を増やした生徒はどのくらい増やしているのか (増えたと答えた生徒)。

